

第6回経絡経穴研究会開催概要

主催：日本経絡経穴研究会

- 開催日時：平成31年3月17日（日）：10時30分～16時
ワークショップ（参加者限定）：10時30分～12時
定期研究会（一般・学生）：13時～16時
- 会場：東洋医療専門学校（〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-5-35） TEL：06-6398-2255(代)
JR 京都線・新幹線「新大阪」駅北口より徒歩5分
大阪メトロ御堂筋線「新大阪」駅4番出口より西へ徒歩5分

■内 容；

ワークショップ【経穴学授業への一石—Teaching から、Learning へ—】10時30分～12時
講師：池藤仁美（関西医療大学 保健医療学部 はり灸・スポーツトレーナー学科 助教）
経絡経穴の受動的学びから能動的な学びの方法を提案します。経絡経穴を身につけるためには、「受講者自身が、経絡経穴の意味に気づき、興味を持って学修を進める」ことが重要です。それを体験してもらうために、ワークショップ形式の授業を行います。

定期研究会【経穴部位国際標準化10年の総括と今後の課題】13時～16時

第Ⅰ部(13時5分～14時15分) 司会：形井秀一(筑波技術大学 名誉教授)

「2009年『新版 経絡経穴概論』発行以降の、経穴部位の使用状況の変化について」

坂口俊二(関西医療大学 はり灸・スポーツトレーナー学科 教授)

「経穴国際標準部位の見直しに向けた日本案」

浦山久嗣(赤門鍼灸柔整専門学校 臨床教育専攻科 専任教員)

第Ⅱ部(14時25分～15時55分) 司会：篠原昭二(九州看護福祉大学 鍼灸スポーツ学科 教授)

「経穴の使用頻度調査について」

三谷直哉(九州看護福祉大学 鍼灸スポーツ学科 助教)

「経絡病証の確立に向けた新たな仮説について」

篠原昭二(九州看護福祉大学 鍼灸スポーツ学科 教授)

「ICD-11における経絡病証の使用状況調査について」

斉藤宗則(明治国際医療大学 鍼灸学科 特任准教授)

■参加資格と参加費；

・午前のワークショップ[定員20名]

*あはき師の養成施設の教員、大学院生、教員養成科の学生限定

参加費は5,000円、午後も引き続き参加する場合は7,000円

・午後の定期研究会[定員100名]

*一般・学生の参加が可能(学生は、当日受付にて学生証の提示が必要)

参加費は一般5,000円、学生2,000円(あはき師何れかの有資格者除く)

◎午前・午後とも事前予約をお願いいたします。実行担当の関西医療大学の坂口までご一報下さい
[電話・FAX:072-453-8409, E-mail: sakaguti@kansai.ac.jp]。詳細の申込方法を改めてご連絡いたします。定員になり次第、締め切らせていただきます。参加費は当日受付にてお支払い下さい。

■備考；午後からの定期研究会は、(公社)全日本鍼灸学会認定C講座に申請予定